平成２７年度　大分県企業局第３期中期経営計画取組み評価について（外部評価調書）

（Ｈ２８．７．２７　経営評価委員会　評価結果）

【１】全体評価

　個別評価においては、電気事業は大野川発電所のリニューアルに向けての準備が順調に進んでいるが、送電線の鉄塔改良工事が若干遅れている。工業用水道事業は給水ネットワーク再構築事業が前倒しで進捗しており、熊本地震を受けての事業遂行状況から見れば「安全・安心」を実現しつつある。懸案であった九州電力との売電の契約料金は、九州電力と粘り強い交渉を幾度となく重ねた結果、売電の契約料金は平成２６年・２７年の平均８．０７円／ｋＷｈが平成２８年・２９年の平均８．５８円/ｋＷｈとなり電気事業の経営の安定化をもたらす状況である。電気事業及び工業用水道事業ともに安定した電力や安定した工業用水の供給が概ね計画以上に遂行できており顧客本位の取組が実現できている。県政への貢献についても従前同様に行われている。企業局の経営基盤はアセットマネジメントの推進やコストダウンの努力によって良好な状況であり、平成２７年度において電気事業の純利益は３２８百万円となっており、工業用水道事業の純利益は６４３百万円となっている。経費の先送りが主な原因ではあるが、ともに計画を大幅に上回っている。
　従って、企業局の全体評価としては、十分に評価に値する運営が行われていると考えるが不測の事態に備えてより一層経営努力を続けていただきたい。

【２】個別評価

（○で囲まれた評価は（ ）で示す）

		内部評価			外部評価			コ　メ　ン　ト
大項目					Ｓ	Ａ	Ｂ	「Ｓ」：項目全てがⅡ以上で、かつⅠが１項目以上 「Ａ」：Ⅲが１項目以内 「Ｂ」：Ⅲが２項目以上
小項目					Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	「Ⅰ」：良好な実施状況にある 「Ⅱ」：概ね年度計画通り実施している 「Ⅲ」：計画までの実施ができなかった
１「安全・安心」の施設管理		＼	＼	＼	Ｓ	(Ａ)	Ｂ	
（１）電気事業								
①地震対策の計画的実施 【目標指標】既存施設 建物・水管橋の耐震化率　９０％ 水路工作物の耐震照査率　２０％	（Ｐ１）	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	
②発電所リニューアルに向けた準備 【目標指標】抽出項目への着手率　２０％	（Ｐ２）	(Ⅰ)	Ⅱ	Ⅲ	(Ⅰ)	Ⅱ	Ⅲ	
③発電所のオーバーホール工事 【目標指標】ｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙ工事実施件数　１件	（Ｐ４）	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	
④その他、経年施設の適切な修繕・改良工事 【目標指標】鉄塔改良工事実施件数　１件	（Ｐ５）	Ⅰ	Ⅱ	(Ⅲ)	Ⅰ	Ⅱ	(Ⅲ)	
（２）工業用水道事業								
①地震（津波）対策の計画的実施 【目標指標】耐震化率累計　１８％	（Ｐ７）	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	
②給水ネットワーク再構築事業の完成 【目標指標】完成する施設割合　４０％	（Ｐ９）	(Ⅰ)	Ⅱ	Ⅲ	(Ⅰ)	Ⅱ	Ⅲ	
③その他、経年施設の適切な修繕・改良工事 【目標指標】監視制御装置更新工事　１件	（Ｐ１２）	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	
（３）共通								
①点検基準の見直し 【目標指標】精査した点検基準　１００％	（Ｐ１２）	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	
②人材の育成（技術の継承） （ｉ）職員研修の充実 【目標指標】技術職員の研修受講数 （技術専門研修）　５．０回／年	（Ｐ１３）	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	
②人材の育成（技術の継承） （ii）経営的視点を持つ技術職員の育成 【目標指標】 総務課配置の技術職員数　２名	（Ｐ１５）	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	

項目	頁	内部評価			外部評価			コメント
2「顧客本位」の取組					(S)	A	B	
（１）電気事業								
①安定した電力の供給 【目標指標】事故・作業停電電力量削減率（過去１０年平均比較）　▲５％	（Ｐ１７）	(Ⅰ)	Ⅱ	Ⅲ	(Ⅰ)	Ⅱ	Ⅲ	
②九州電力との定期的意見交換 【目標指標】九州電力との意見交換回数　４回	（Ｐ１７）	(Ⅰ)	Ⅱ	Ⅲ	(Ⅰ)	Ⅱ	Ⅲ	
（２）工業用水道事業								
①安定した工業用水の供給 【目標指標】ユーザー要求量に対する給水率　１００％	（Ｐ１８）	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	
②さらなる濁水対策の調査・研究 【目標指標】給水条例基準濁度での供給　１００％	（Ｐ１９）	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	
③ユーザー懇談会の充実とユーザーへの定期訪問 【目標指標】ユーザー懇談会開催回数　２回 現地案内会開催回数　１回 ユーザー訪問数（局長）１９社	（Ｐ２０）	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	
④商工労働部と連携した新規顧客開拓 【目標指標】新規申込件数　１件	（Ｐ２２）	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	その他のルート（商工労働部、東京事務所以外）を利用して新規顧客開拓を行うこと

項目	頁	内部評価			外部評価			コメント
３ 県政（地域）への「貢献」					S	(A)	B	
（３）共通								
①一般会計への繰り出し 【目標指標】一般会計への繰り出し（電気）　５０百万円 一般会計への繰り出し（工水）１００百万円	（Ｐ２４）	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	
②環境保全活動等への助成・検討 【目標指標】助成対象の植林（間伐）面積５０ｈａ 交流事業の回数　２回 新たな環境保全活動等への助成１回	（Ｐ２５）	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	

項目	頁	内部評価			外部評価			コメント
Ⅳ 経営基盤確立の推進					(S)	A	B	
2　アセットマネジメントによる計画的施設補修と費用の平準化								
【目標指標】データ更新率　２０％	（Ｐ２８）	(Ⅰ)	Ⅱ	Ⅲ	(Ⅰ)	Ⅱ	Ⅲ	
3　コストダウン推進委員会による経費削減等に向けた検証								
【目標指標】 建設改良費の削減率　５％ 遊休資産の利活用率　５０％	（Ｐ２９）	(Ⅰ)	Ⅱ	Ⅲ	(Ⅰ)	Ⅱ	Ⅲ	
4　既存施設の活用等による再生可能エネルギー拡大の取組								
（H27年度実施計画なし）	（Ｐ３１）	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	Ⅰ	(Ⅱ)	Ⅲ	
5　計画の進捗管理と自己評価								
【目標指標】　３０回	（Ｐ３２）	(Ⅰ)	Ⅱ	Ⅲ	(Ⅰ)	Ⅱ	Ⅲ	

※ページ番号は別冊「大分県企業局第３期中期経営計画　実施計画及び実施結果」のページに対応